

別紙 ◆ 展示パネル(例)

国土交通省 中部地方整備局

「防災機能の強化」

橋を強くする 耐震補強。

南海トラフ
巨大地震に備えて



橋脚補強
耐震補強済み(鋼板巻立補強)で、地震動による揺動を抑制。

落橋防止装置
落橋防止装置の一部は損傷しましたが、形を失えるゴム支承(黒い部分)は健全。

国道45号 金石高架橋(震度6弱)

国道13号 福島街道踏切高架橋(震度5弱)

対震前 | 対震中(下部工補強状況) | 対震後(鋼板巻き立て工)

阪神・淡路大震災などを踏まえて、これまでに橋の耐震補強、落橋防止や液状化対策などを進めてきました。東日本大震災では、対策が済んでいた施設は被害が軽減されましたが、耐震補強を行っていない箇所は被害を受けてしまいました。南海トラフの巨大地震は、さらに大きな揺れになると想定されているので、引き続き緊急輸送道路の耐震補強を進めています。

国土交通省 中部地方整備局

「防災機能の強化」

避難を促す 海拔表示シート。

南海トラフ
巨大地震に備えて

道路の標識柱に、青色の海拔表示シートを設置しています。歩行者やドライバーの目線の高さに配慮して、路面から1.5m程度の位置に貼り付けました。平常時に道路や周辺の高さを知り、避難時には安全か否かの目安になります。これは、県市とも連携し、国道の他に主要地方道の標識柱や信号柱にも設置されます。



国道1号新居支所前交差点付近 | 国道21号津土肥線・沼津市立静蓮小学校付近 | 国道八幡田橋南線山形市東山町交差点付近

国道160号水見市海線小学校交差点付近 | 国道236号蒲河町西横別 | 主要地方道御路環状線御路市光陽町



平常時 | 避難時

道路や周辺の高さを知ることができる | 避難時の目安として活用できる